

| | | | | | | | | | | |
|--------------|------------------|------|----|-----|----|------|------|-------|------|----|
| 科目コード | C1935 | 開講学期 | 通年 | 単位数 | 4 | 一般聴講 | 可 | LA聴講 | 可 | |
| 授業科目名 | 人体生理学 | | | | | | | | | |
| Course Title | Human Physiology | | | | | | | | | |
| 担当教員 | 夏井 正明 | | | | | | 責任教員 | 夏井 正明 | | |
| 曜限:日程 | 水1 | | | | | | | | | |
| 対象学年 | 1年 | — | 2年 | — | 3年 | 選択必修 | 4年 | 選択必修 | 重複履修 | 不可 |

授業のねらいと到達目標

ヒトが「生きている」状態とはどのようなことか、最新の知見に基づき平易に解説する。身体は外部環境・内部環境の変化にともない、どのような対応をしているのか、日常生活の中で感じる様々な疑問に答えるかたちで、エビデンスに基づく「ヒトの生理（機能）」がわかるように解説する。

授業計画・春期

人体機能を「恒常性（Homeostasis）」という観点から解説する。生体の生理機能を理解するうえで必要となる「組織・器官・構造」の知識も必要となる。生体が「病気になる」とはどのような機能的・形態的变化なのか、それがどのような過程を経て「治癒する」のかについて解説する。コメディカル（看護・医療系）や生命科学系に関心がある学生に、人体を6つの「系」に区分して講義をおこなう。テキストは「Ganong's Review of Medical Physiology 24th Ed.」を基に、自作のプリントを配布する。春期は①神経系、②代謝・内分泌系、③消化器系を取り上げる。

授業計画・秋期

春期に続き④循環器系、⑤呼吸器系、⑥泌尿器系について解説する。

評価方法

出席60%、講義中の討論40%

学内販売予定教科書

その他の教科書・教材

参考文献

学生に望むこと・その他

自分自身の身体に生じる、様々な現象について関心を持って講義に臨んで欲しい。青年期に身体について正確な知識を得ることは、将来の自分を主人公とした「Sustainable」な、身体管理者となる鍵といえる。

履修要件

（フィールドサイエンス選択必修、データサイエンス選択必修）